

# 一般質問発言通告書

発言順位 18番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和5年6月6日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 16番 佐野 淳 祥

質問事項1	DX時代の広報戦略で、「必要な人に」「必要な情報を」「必要な時に」どう届けるか
具体的内容	スマートフォンのSNSやニュースアプリなどでは、その人の趣向や生活環境などをAIが把握し、欲しいと思われる情報を優先的に多く得られるよう、無限の情報から自動に取捨選択されています。多様な人が暮らす本市においても、市民のために有効な施策を多く展開していますが、子育て世帯、高齢者世帯、障がい者など、その人に合った情報を迅速的確に伝えることが求められます。つきましては、以下のとおり質問いたします。
	1 広報みしまの今後について
	2 子育てアプリ導入により、子育て世帯給付金等において当局職員負担軽減ならびに地域経済への波及効果を創出できないか。
	3 高校生世代への学習支援、経済的支援の情報収集について
質問事項2	三島市の歴史、文化の継承と観光に生かす
具体的内容	東京や大阪など大都市に人口が集中する現代で、地方都市の武器となるのが、まちの持つソフトパワーです。ソフトパワーとは、文化・芸術や歴史などですが、三島市がいま発展している大きな要素は、「三島独特の歴史や文化の魅力」ではないでしょうか。魅力的な歴史や文化があり、魅力的な市民がおり、さらに魅力的な人々が移住してきています。歴史・文化を大切にするために、以下のとおり質問いたします。
	1 三島市誌は1958年刊行、1987年に増補、今後の予定はどうなっているか。
	2 箱根から日本遺産「箱根八里」への更なる誘客について
	3 塚原古墳群の活用について
質問事項3	中心市街地と商業の活性化
具体的内容	三島市は、可住地人口密度が全国1741市区町村中209位(県内では2位)と高く、コンパクトシティが求められる人口減少の時代に有利なまちの形態となっています。南口東街区再開発事業をはじめ、広小路駅、三嶋大社を結ぶトライアングルを、まちなかりノベーション推進計画で持続的な発展を目指すまちづくりは、江戸時代から続く三島宿を中心としたまちの発展となんら変わりはありません。つきましては、以下のとおり質問いたします。
	【新庁舎建設事業について】
	1 歴史的な背景をどのように考えているか。
	2 必要とされる駐車台数を算定する基準は何か(来庁者、免許返納者、曜日時間帯、民間P)。
	3 MaaSが急速拡大、車保有の大幅減少が予想される将来、駐車場は不要な資産とされないか。
	4 南二日町を建設地とした場合、サッカー場やグラウンドは移設をするのか。
	【中心市街地の発展について】
	5 再開発のにぎわいをどのように市内個店の売上増につなげるのか。
	6 ウォーカーブルには、休憩するベンチの設置が必要ではないか。
	7 ビル風対策として、手すりを兼ねた防護柵を設置できないか。
	8 高齢者バス等利用助成事業のチケットを、一般個店でも購買客にサービス利用できないか。